

FREE

ご自由にお持ちください。

No.830

2022 November

11

岐阜県の森林・林業

も り

森林のたより



News of the forest



令和4年度林政部優良工事施工者表彰式を開催しました



●詳細は3ページをご覧ください



編集・発行 公益社団法人 岐阜県山林協会

E-mail sanrinag@quartz.ocn.ne.jp

<http://www.g-forestry.or.jp> (公社)岐阜県山林協会の情報をご覧ください。

開催日	行事名等	内容等 (概要、定員、受講料、申込期限など)	場所
			申込(問合せ)先/TEL
11月11日(金) 11月13日(日) 11月20日(日) 11月27日(日)	スプーンクラブ	●一般の人々に木工に親しんでもらう機会を作るため、月に3~4回程度、伐ったばかりの生木を斧やナイフで削る「グリーンウッドワーク」の手法でスプーンを作る「スプーンクラブ」を実施する。	ぎふ木遊館 058-215-1515
11月15日(火)	森林サービス産業普及促進セミナー	「森林サービス産業」に興味・関心を持ってもらうためのセミナーを開催します。 希望者にはmorinosプログラム「はだしのトレイル」の一部体験も実施します。 ●時間：15:30~17:30(はだしのトレイル体験は14:30~) ●定員：セミナー70名 はだしのトレイル体験30名 ※詳細は岐阜県HPをご覧ください。	岐阜県立森林文化アカデミー 森の情報センター 岐阜県 森林活用推進課 058-272-8821
①11月23日(水・祝) ②12月17日(土) 計2回	摩擦発火と焚き火マンダラ講座 ~素材選択から季節変動まで~	●対象：小学4年生以上(小学生は保護者も要参加) ●定員：10組 ●受講料：15,000円(1組) ●申込期限：開催日の10日前	岐阜県立森林文化アカデミー 森の工房(美濃市) 森林総合教育センター(morinos) 0575-35-3883
11月26日(土)	ワイズマンから学ぶ庭木剪定初級講座 ~枝の見方、ハサミの選び方~	●対象：18歳以上の野外活動が可能なお方 ●定員：10名 ●受講料：1,000円 ●申込期限：11月11日(金)	岐阜県立森林文化アカデミー 森の情報センター(美濃市) 森林総合教育センター(morinos) 0575-35-3883
12月3日(土)	morinosカフェ 北アルプスでつなげる 飛騨高山と松本	●対象：県内在住の成人 ●定員：20名 ●受講料：無料 ※詳細は森林総合教育センター(morinos)のHPをご覧ください。	高山市 若者等活動事務所 村半 森林総合教育センター(morinos) 0575-35-3883
12月7日(水)	狩猟免許試験	狩猟免許取得のための試験を実施します。 ●時間：9:30~17:00 ●申込：11/2~11/16	恵那総合庁舎大会議室 各地域を所管する県事務所、 または環境生活政策課 (058-272-1111 内線 2701)



目次 Contents

イベントカレンダー(一般向け) 2
 令和4年度林政部優良工事施工者表彰式を開催 3
 「岐阜県緑化功労者表彰」及び「岐阜県林業経営コンクール」の表彰式を開催! 3
 保安林制度の概要 4
 水源地域において、土地の売買等又は開発行為を行おうとする場合は事前の届出が必要! 4
 林業労働災害レスキュー訓練を開催しました 5
 山の歳時記(207) ツルウメモドキ 6
 山のおじやまむし(376) —なぜあの時だけ大群でヤバ蚊 7
 ぎふ木遊館通信 8
 morinos 森の出番(morino de van)紹介!! 9
 山林協会通信7 10
 シリーズ「森林・環境税」で緑豊かな清流の国ぎふづくり(7) 11
 森林と人を活かす知恵(118) 12
 気を抜くと腐る?けど思ったようには腐らない?木材腐朽のふしぎ 12
 木の香るまふの施設(116) JAにしみの海洋北支店 13
 地域の人 恵那地域の新人紹介 14
 研究コーナー ツリーシェルターを適切に管理して森林を育てる 15
 普及コーナー 可伐地域における普及活動について 16
 スマート林業通信(29)「経営モデル実証事業」稼働開始! 17
 国有林の現場から(73) 御嶽山合同パトロール 18
 林業者向けお知らせ 19
 市況 20



表紙●詳細は3ページをご覧ください。

令和4年度林政部優良工事施工者表彰式を開催 ～ 林政部長表彰 ～

県林政部では、公共工事施工者の技術力に加え、創意工夫や地域貢献活動などの取組みを奨励し、施工者の意欲の増進を図るとともに、建設産業の社会的評価を高めるため、優良工事施工者表彰を実施しています。

令和4年度は、林政部が発注した工事のうち、令和3年度に完成した179件の中から、林政部長表彰4件及び農林事務所長表彰10件を選定し、令和4年9月5日(月)に、岐阜県水産会館において、林政部長表彰受賞者を対象とした表彰式を開催しました。

受賞されました皆様方には、地域の建設業の模範として、より一層ご活躍いただくことを期待しています。



○令和4年度林政部長表彰の受賞者

受賞者	表彰対象工事	
㈱西尾建設	東治工第0207号 公共復旧治山事業 川折地区工事 (R2補正) 外1	山腹・溪間工事 (東濃農林事務所管内)
大山土木(株)	飛治第0211号 公共災害関連緊急治山工事 (大久手)	溪間工事 (飛騨農林事務所管内)
坂本土木(株)	飛治第0225号 公共復旧治山工事 (湯ノ平2)	山腹工事 (飛騨農林事務所管内)
㈱立保	可林工第0203号 公共林道開設工事 (尾城山2-3工区)	林道開設工事 (可茂農林事務所管内)

●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-1111 内線(3020) 林政課政策企画係まで

「岐阜県緑化功労者表彰」及び「岐阜県林業経営コンクール」の表彰式を開催!

県では、多年にわたり緑化活動への功績が顕著であった個人・団体を「岐阜県緑化功労者」として、また優良な林業経営を行う林業経営者・法人・団体等を「岐阜県林業経営コンクール」において、毎年表彰しています。

このたび、4者(個人・団体)の方が受賞され、10月14日に岐阜県庁で表彰式を開催しました。



【写真左から】栗本 重秋さん、高橋 利見さん、高井林政部長、内木 篤志さん、石田 五秀さん(明宝財産区管理会 会長)

【受賞者】

- 岐阜県緑化功労者表彰 : 栗本 重秋さん(東白川村) 高橋 利見さん(岐阜市) 内木 篤志さん(中津川市)
- 岐阜県林業経営コンクール : 明宝財産区管理会(郡上市)

- 岐阜県緑化功労者表彰について、詳しい内容を知りたい方は TEL058-272-8255 森林活用推進課緑化推進係まで
- 岐阜県林業経営コンクールについて、詳しい内容を知りたい方は TEL058-272-8491 森林経営課スマート林業推進係まで

保安林制度の概要

■ 保安林とは

森林には、水を蓄え洪水を防止する機能、土砂の流出や崩壊を防止する機能、森林浴や森林レクリエーションにより心身をリラックスさせる効果など、様々な働きがあります。このような森林の持つ機能を特に発揮させる必要がある森林を森林法に基づき保安林に指定しています。

■ 保安林の種類

保安林は、指定の目的によって17種類に区分されています。

そのうち、岐阜県内にある保安林は次の9種類です。

- 水源かん養保安林
- 土砂流出防備保安林
- 土砂崩壊防備保安林
- 干害防備保安林
- なだれ防止保安林
- 落石防止保安林
- 保健保安林
- 風致保安林
- 魚つき保安林



■ 保安林の行為制限

保安林では、森林の働きを維持するために次のような行為が制限されており、違反すると法律により罰せられる場合があります。

- 立木竹の伐採、立木の損傷、家畜の放牧、下草・落葉・落枝の採取、土石・樹根の採掘、開墾その他の土地の形質の変更
- ※詳しくは最寄りの県農林事務所又は県庁森林保全課森林管理係へお問い合わせください。

岐阜県には約42万haの保安林がありますが、この保安林を守っていくことが私たちの生活を守ることにもつながります。保安林の適正な管理にご協力ください。

● 詳しい内容を知りたい方は [TEL 058-272-1111](tel:058-272-1111) 内線(3163または3164) 森林保全課森林管理係まで

水源地域において、土地の売買等又は開発行為を行おうとする場合は事前の届出が必要です

県では、「清流の国ぎふ」の大切な水源を保全するため岐阜県水源地域保全条例を制定しています。

条例に基づき、令和4年9月末現在、22市町村、264箇所、約6万7千ヘクタールの森林が水源地域に指定されています。

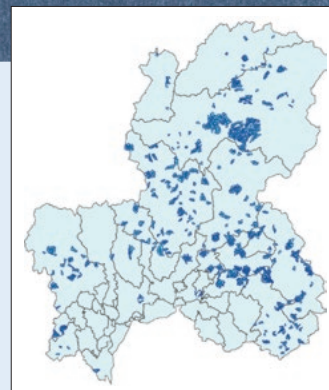
水源地域に指定された土地の売買等を行う場合には、30日前までに県への届出が必要です。

また、1ha以下の開発や、建物等の設置、水を採取するための設備の設置を行う場合は60日前までに県への届出が必要です。

水源地域の位置や届出の詳細な内容は、県ホームページでご確認いただけます。

[岐阜県水源地域保全条例](#) [検索](#)

この条例は、水源林が私たちの知らないうちに売買され、違法に木が伐採されたり、開発されたりすることを防ぐための重要な役割を果たしていますので、事前の届出にご協力をお願いします。



水源地域の指定状況



水道施設と水源林（関市富之保）

● 詳しい内容を知りたい方は [TEL 058-272-8496](tel:058-272-8496) 森林保全課水源林保全係まで



林業労働災害レスキュー訓練 を開催しました

林業労働安全対策として、奥山で作業中に被災した技術者を、安全かつ迅速に救出する知識と手順等を学ぶ「林業労働災害レスキュー訓練」の開催を、岐阜・飛騨・郡上・恵那の県内4地区で計画しました。

そのうち郡上地区においては、9月13日に管内の林業事業者5社17名が参加し、消防署職員による指導のもと、次の訓練を実施しました。

被災想定訓練

【訓練①…緊急通報訓練】

訓練会場から携帯電話及び衛星電話で実際に「119」番通報を行い、オペレーターからの質問に答えながら、被災場所や被災者の状況などを伝えました。衛星電話からの通報は、想定していた電話番号が繋がらず、携帯電話会社によって発信番号に違いがあることを知る機会となりました。

【訓練②…被災者の救出訓練】

訓練には、レスキューマネキン(重量48kg)を用い、技術者が倒木に挟

まれている状況を再現しました。

まず、倒木が動かないことや他に危険因子がないか等を確認し、救出方法の検討を行いました。その後救出方法を決め、実際に倒木を持ち上げたり、チェーンソーで倒木を切る等被災者を安全に救出しました。



被災者の救出訓練

【訓練③…被災者の搬送訓練】

被災者が一人で動けない状況を想定し、参加者が持参した担架や作業服と木杭で作った簡易担架を用いた「担架搬送」と「背負い搬送」の2種類を行いました。足場が悪く傾斜のある林内から最寄りの林道まで、苦

戦しながら被災者を搬送しました。



背負いによる搬送訓練

また、防災ヘリコプターによる搬送訓練も行いました。被災現場に防災ヘリコプターを要請したという想定で、林内及び林道にいる被災者をピックアップし搬送しました。



防災ヘリによる搬送訓練

【訓練④…切傷部の止血等応急処置訓練】

緊急車両等が到着するまでの間に、自分達で出来る三角巾を使用した止血方法や骨折時の固定など応急処置訓練を行いました。中途半端な止血は逆効果となる等、正しい方法を学びました。

訓練の振り返り

訓練後は、グループ単位で訓練内容を振り返る意見交換を行いました。

参加者からは、「焦りから緊急通報訓練の際に、迅速な受け答えができなかった。貴重な経験が出来て良かった。」「防災ヘリが近づいた時の風の強さに驚いた。また、狭い立木の間でも救出できるため、自力で無理に搬送しない方が良い場合もあると実感した。」など実践的な訓練ならではの意見が多く聞かれました。

また、消防署職員からは個々の訓練の講評に加えて、「緯度・経度や目標物など、通報時には的確かつ迅速に位置情報を伝えることが最も重要である。日頃から作業現場の情報を把握・共有することが大事である」といった日々の備えについても助言がありました。一日を通し、参加した皆さんにとって実のある訓練が実施できました。

今後も開催地区を拡大するとともに、今回までに実施した地区においても継続して訓練を行うことで、林業関係者の緊急時の迅速な対応と安全意識の向上に繋がっていきます。

【森林経営課 担い手企画係】



文：樹木医・日本森林インストラクター協会 理事 川尻 秀樹

飛騨川沿いに高山市を目指す途中、待避所の脇で美しい果実をつけたツルウメモドキを見つけた。ツルウメモドキ (*Celastrus orbiculatus*) は日本全国に分布するニシキギ科ツルウメモドキ属の蔓性落葉木本です。互生する葉は長さ約5〜10cmの倒卵形〜楕円形で、5〜6月に葉腋に短い集散花序を出して黄緑色

の花を咲かせる雌雄異株です。

蔓は灰褐色で長く伸びてほかの植物に絡みつき、10〜12月には黄色に熟した直径7〜8mmの果実(朔果)が3つに割れ、中から橙赤色の仮種皮に包まれた種子が顔を出し、この彩りが美しいため盆栽に仕立てたり、生け花やリース材料にも利用されたりします。

フラワーショップなどで早い時期から店頭に並ぶものは、果実がまだ青いうちに採取して、表面を火であぶって強制的に皮を裂かせたものです。季節どおりならば10月下旬〜11月に熟するため、俳諧では秋の季語に「ツルウメモドキ」または「ツルモドキ」として使われます。

ツルウメモドキの和名は、蔓性のウメモドキ (*Ilex serrata*) を意味しますが、属名の *Celastrus* は古代ギリシャ語の「*Celastrus* (常緑のセイヨウキツタ)」、種小名の *orbiculatus* は「円形の」という意

味です。

ちなみに英語では *Oriental bitter-sweet* とか、*Asian bitter-sweet* と呼ばれます。熟した果実は少し甘いのですが、蔓を齧ってみても苦さも甘さも感じませんでした。

ツルウメモドキの利用で特徴的なのは繊維利用です。アイヌ民族の伝統的織物「アットウシ(厚司)」には、オヒョウやハルニレ、シナノキなどとともにツルウメモドキの樹皮繊維が使われ、ツルウメモドキは植物の内皮繊維を意味する「ハイ」と、蔓を意味する「プンカル」から、「ハイプンカル」と呼ばれていました。繊維はシナノキの内皮よりも白く強靱なため、荷負縄や弓の弦、女性の下帯、メカジキ漁の銚を結ぶ紐などにも利用されました。

冬に蔓を採取して縦に半分に分け、採った内皮のみを熱湯に数分間漬けて濃い緑色になったら、雪

の上で2週間ほど晒して白くし、細く裂いてから撚って地機(じばた)で布に織り上げます。

近年、河川沿いや山のツルウメモドキは、河川改修工事や人工造林によって減少していますが、山口県防府市にはクロガネモチの巨樹に巻き付いた見事な「麻生のツルウメモドキ(天然記念物)」が見られます。

川沿いのツルウメモドキを前に、こうした大きな株がいつまで残してもらえないか不安を感じながら飛騨川の上流に向かったのです。



▲鮮やかな果実を見せるツルウメモドキ



山のおじゃまむし



—なぜあの日だけ大群で、ヤブ蚊—【第376回】

自然学総合研究所 野平 照雄 ● Teruo Nohira

私の目標は週4日以上散歩。もう10数年続けている。足腰を鍛えるためだ。目標は一日1万歩。当初は自宅近くを歩いていた。ある日、同級生にこのことを話すと、彼は言った。「平坦な道ばかりでは運動にならない。山道も歩かなければ駄目だ」。それで近くの伊木山（標高173m）も歩くことにした。軽い足取りで歩けた。これを続けているうちに75才になった。ところがこの頃から伊木山を歩くのがきつくなってきた。そこで無理をせずゆっくり歩くようにした。しかし、時間が1時間半以上かかるようになった。しかも同じ道を歩いているので飽きてくる。そこでラジオを聞きながら歩き始めた。これが正解。楽しい山歩きとなったのである。しかし、今年の夏はすごく暑かったので、自宅周辺を歩いた。それが9月11日、久しぶりに伊木山を歩いた。少し涼しくなってきたからである。歩き始めたら小さな虫が目の前に現れ飛び回った。すぐに顔や腕に止まる。叩き殺すとそこには赤い血。ヤブ蚊と呼ばれている蚊が襲ってきたのである。その数がすごい。数えてみた。片腕に10数匹。20匹以上の時もあった。これが両腕と顔。次々と襲ってくるのだ。蚊と闘いながらの山歩きとなった。蚊の攻撃は登山口から頂上まで続いた。腕はブクブクに膨れ、血で赤くなっている。こんなことは初めてであった。上りはラジオを聞く余裕がなかったので、スイッチを入れた。連日新聞、テレビで報道されている、保育園の園児がバスの中で置き去りにされ熱中症で死亡したことを話していた。園児は水筒を空にし、衣服を脱ぎ棄てて倒れていたという。むごい話だ。この姿を想像すると胸が詰まり、涙が出てきた。少し下ると再び蚊が攻撃してきた。これをたたき殺す。この繰り返しだ。その時バスの中で死亡した園児が目に見えんできた。苦しかっただろう。これに比べ蚊に襲われたくらいで大騒ぎしている自分。みじめというか情けなくなり、むきになって蚊を殺さないようにした。登山口に着いた。蚊はいなくなった。しかし、腕は血で染まり真っ赤か。しかもすごく痒い。どれくらいの蚊に刺されたのだろうと思った。

× × × ×

持ち帰った蚊を調べた。ヒトスジシマカであった。ヤブ蚊と呼ばれている蚊である。体が黒と白の模様になっているのでよくわかる。我が家にも蚊はたくさんいる。庭で草引きをすれば襲ってくるし、夜になると家の中で「ブーン」と音をたてて刺しに来る。しかし、ヒトスジシマカとは体の模様が違う。アカイエカであった。我が家にいるのはこの蚊だけでヒトスジシマカはいなかった。両種とも大きさは5mm前後。卵から成虫になるのは10数日。これが年中活動しているが暑い夏場に多い。血を吸うのはメス

だけ。丈夫な卵を産むための栄養源だからである。私は何十年も虫採りに出かけているが、こんなに沢山のヤブ蚊に刺されたことがない。なぜ、あの日だけ多かったのか。このことが気になってきた。

× × × ×

そこで、2日後同じコースを歩いた。天候などの条件はほぼ同じであった。ところがこの日は少ない。数匹集まるだけなのである。「飛んで来い、飛んで来い。ヤブ蚊たちよ」。こんな唄を口にしていううちに頂上に着いた。2日前にあれだけいた蚊はどこへ消えてしまったのか。頭がもよもやしたまま頂上を後にした。下りも同じで、腕は痒くも痛くもなかった。登山口へ着いた。



しかし、なぜ今日は少なかったのか。このことが気になったので、近くにある神社の山林など3か所を調べた。ヤブ蚊はどこにもいたが、ほとんどがヒトスジシマカ。時々アカイエカがいた。しかし、数は少ない。なぜあの日だけあんなに多かったのか。この謎は深まるばかりだ。

× × × ×

庭で草引きをすると、すぐに蚊が飛んできて顔を攻撃する。これがうっとうしい。ところが女房はほとんど刺されないという。「なぜ俺だけが襲われるのだろう」。「お酒の飲みすぎよ。晩酌を止めたら」と女房。「蚊に食われても酒は止めないよ」と答える自分。その後、「もしや本当では」。そんな気がした。故某大学の博士が「呑み助には蚊が集まる。大酒飲みほど大群が押しかける」と口にしていたことを思い出したからである。庭には水鉢、バケツ、瓶、缶などがあり、水の溜まっている容器には幼虫（ポウフラ）がいた。蚊は卵からわずか10日間で成虫になる。これが次々と卵を産んでいくのだから、蚊がいるのは当然だと思った。しかし、数は少ない。なぜあの日だけあんなに多かったのだろう。またまたこの謎へ。顔や腕に群がるヤブ蚊たち。追い払っても次々と襲ってくる。うっとうしく腹が立った。このことを思い出している時、園児が「おじさん。ヤブ蚊の大群なんかたいしたことないよ。刺されるだけだから。私はバスの中で暑くて暑くて本当に苦しかったんだよ」と言っているような気がしてきた。





ぎふ木遊館通信



ぎふ木遊館のギャラリーでは、県内各地の「ぎふ木育」の取組や、その背景となる自然・産業等を紹介するギャラリー企画展を開催しています。9月9日から10月4日にかけて中津川市の協力により「中津川市の森林文化と木育展」を開催しました。

中津川市は、木曽五木等の豊かな森林資源を背景に、乳幼児への木製記念品のプレゼント、幼児向けの独自の木育プログラム開発、木育指導者の育成等に取り組んでおり、県内市町村の中でも特に木育に力を入れています。林業・木材産業だけにとどまらず、幅広い人材・団体が「中津川市自然環境団体等連絡協議会」を構成し、指導者の育成・派遣に取り組んでいる点が特徴です。

今回の展示で印象的だったものは、付知南小学校での1年生から6年生までの段階的な取組みです（右写真）。生活科や図工の教育課程に木育を位置づけ、五感を使った造形遊びから始まり、みんなで協力してつくる達成感を得るプログラム、1枚の板から生活に必要なものを作り出すプログラムへとつなげています。

その他にも、ビー玉と組み合わせたかわいらしい木工作品や、受け継がれてきた木材加工の技術を活かしたギターやドラムの展示も来館者の目を惹いていました。



中津川市の誕生祝い品(左)
入園祝い品(中央) 入学祝い品(右)



市内の雄大な自然(渓谷や滝)も紹介



市内の木工作家の触れて
楽しい作品展示



有名なギターやドラムなど木の楽器も
中津川で作られています

今回の企画展の会期中に、中津川市から講師をお招きして、下記の木育プログラムを開催しました。三者三様の趣向に富んだプログラムで、いずれも予約は満席となり、計64名が参加されました。

- 『木片でつくる木のおもちゃづくり教室』 講師：TOY VILLAGE 虹の森 牧野隆さん
- 『お箸づくり ~ありがとうを込めて~』 講師：加子母森林組合 内木英喜さん、安江愛子さん、側島優希さん
- 『鼻笛をつくろう』 講師：栗くり工房 栗谷本征二さん

森林文化・木との関わりが色濃く残る中津川市は、木育に携わる人材が豊富で、ぎふ木遊館でもご活躍いただいています。また、10月25日には中津川市苗木公民館でぎふ木育サポーター養成講座を開催し、ぎふ木育の裾野を広げています。ぎふ木遊館からは地理的に少し遠方である中津川市ですが、「ぎふ木育」を広く県内に波及して進めるよう、これからも互いに連携して取組みを進めていきたいと思います。





やがてみんなの森になる

morinos

森の出番 (morino de van) 紹介!!

morinosでは住友林業株式会社との協働プロジェクト「morino de van (森の出番)」を実施しています。森林体験プログラムの教材をラッピングしたバンに載せて、各地の小中学校や保育園などに出向いてプログラムを届けています。

今回は初めて飛騨地区の飛騨市立河合小学校 (以下、河合小学校) を訪れました。

河合小学校は全校児童32名と少人数です。教頭の中谷先生から「飛騨市河合町は森に囲まれた地域だが、暮らしの中で気づきにくい森の恵みを実感させたい」という想いを伺い、「火おこし」と「たたき染め」を体験してもらいました。

最初は火おこしに挑戦です。1年生から6年生まで混合の6班に分かれて行いました。

焚き付けはコウゾの皮をむいた後の芯を使いました。実は河合町は山中 (さんちゅう) 和紙の産地で、今回使った芯は山中和紙工房でもある、児童の家庭から寄贈していただいたものです。

適当な長さにノコギリで切り、スタッフの説明を聞きながら焚火台の上にコウゾの芯をセットしました。



森の出番 (morino de van)

その後、班で協力して火おこしに挑戦しました。

真ん中の児童が火きり棒を支えて火きり板に押さえつきます。何度か試行錯誤の末、徐々に煙が出始めた班が…。そして30分ほど苦勞の末、最初の班が火種から着火することができました。子どもたちの「やったー」という声が印象的でした。



協力して火おこします



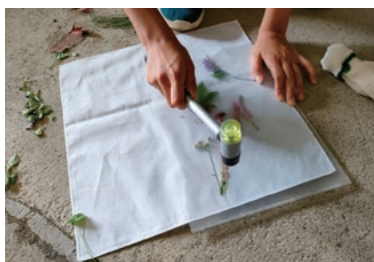
なんとか着火しました

つぎは、たたき染めに挑戦です。

校庭の周りを散策して、季節の草花を探しました。赤や青、赤紫とよく観ると色とりどりの植物が。それぞれ少ししいたいて、木綿のハンカチの上に並べ、クリアフォルダで挟んでハンマーで軽く叩きます。すると、植物の色と形が木綿に写し出され、きれいなたたき染めが出来上がりました。



季節の草花を並べます



ハンマーでたたきます



たたき染めができました

あっという間の3時間でしたが、子どもたちの楽しそうで満足した表情に、こちらもホッとすると共に、また届けたいとエネルギーをもらった気がします。

河合小学校の児童・先生の皆さん、ありがとうございました!

morinosは、休館日以外、開館時間の10時から16時までの間、自由に利用いただけます。多くの皆様のお越しをお待ちしております。興味を持ってくださった方は、morinosのホームページ、動画YouTubeをご覧ください。

ホームページ <https://morinos.net>

開所時間 10:00~16:00

YouTube 検索「morinosチャンネル」

定休日 毎週火・水曜日



morinosHP



YouTube
「morinosチャンネル」



林業3団体による林野庁、県選出国会議員への提案・要望活動を行いました

山林協会通信⑦

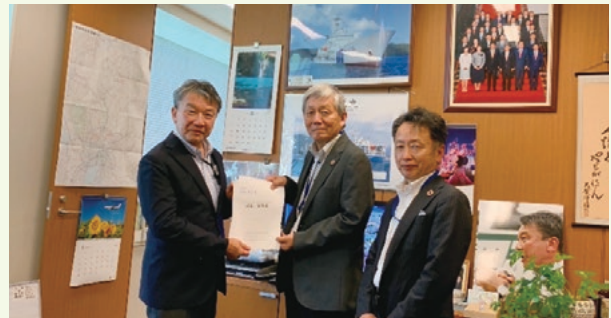


(公社)岐阜県山林協会、岐阜県森林組合連合会、岐阜県木材協同組合連合会は、毎年夏と冬の2回、林野庁及び県選出国会議員に対する「森林・林業・木材産業活性化推進に関する提案・要望活動」を行っています。

令和2年度、3年度と2年続けて、新型コロナウイルス対策の関係から「提案・要望書の郵送による提案・要望活動」を行ってきましたが、今年度は、久々に対面による提案・要望を、8月1日(月)に、瀬上(公社)岐阜県山林協会副会長、荻巣岐阜県木材協同組合連合会副会長の2名が、織田(おりた)林野庁長官、前田林政部長、小坂森林整備部長等林野庁幹部と面談し、提案・要望書を手渡し、岐阜県の森林・林業・木材産業の現状を説明すると共に、令和5年度予算に対する提案・要望を行いました。



写真左から荻巣、織田長官、瀬上



写真左から大野参議院議員、瀬上、荻巣

林野庁に続き、県選出国会議員に対する提案・要望活動のため、衆議院議員会館、参議院議員会館を訪問しました。折よく、大野参議院議員がお見えになり(皆さんお忙しい方ばかりで、中々お会いして直接説明する機会はありません。右上の写真は貴重な機会でした)提案・要望書を手渡し、岐阜県の森林・林業・木材産業の現状と課題、支援策等について説明を行うとともに、岐阜県への重点的な予算配分への支援をお願いしました。

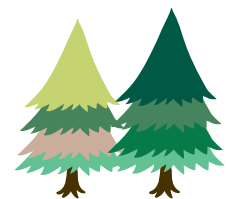
提案・要望内容は下表のとおりです。

I 令和5年度当初予算の確保及び本県への重点配分について

- 1 脱炭素社会の実現に向けた森林吸収源対策に必要な予算
- 2 脱炭素社会の実現に向けた木質バイオマス燃料における木材利用拡大に必要な予算
- 3 林業・木材産業の成長産業化に資するDXの推進に必要な予算
- 4 林業及び木材・木製品製造業の人材の育成・確保の着実な推進に必要な予算
- 5 山地災害の早期復旧及び減災・防災、国土強靱化の推進に必要な予算
- 6 林道事業の着実な推進に必要な予算
- 7 効率的なサプライチェーンの構築支援助成事業及び森林認証材の需要拡大並びにJAS構造材利用拡大に向けた必要な予算

II 制度の運用等について

- 1 脱炭素社会の実現に向けた建築物における木材利用拡大
- 2 「森林サービス産業」創出・推進と山村地域の振興支援の拡充
- 3 ウッドショック等急激な木材需給の変化に対応する安定供給体制の強化
- 4 特用林産物の振興
- 5 地域材を活用した新たな製品・工法等の研究・開発に関する支援の強化・拡充



【山林協会 瀬上 繁隆】

『森林・環境税』で“緑豊かな清流の国ぎふづくり”

7

県では、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、県民みんなで豊かな自然環境を守る様々な取組みを行っています。こうした取組みの内容について連載で紹介します。

脱炭素社会に貢献する森林づくり事業（森林吸収源対策事業）

【背景】

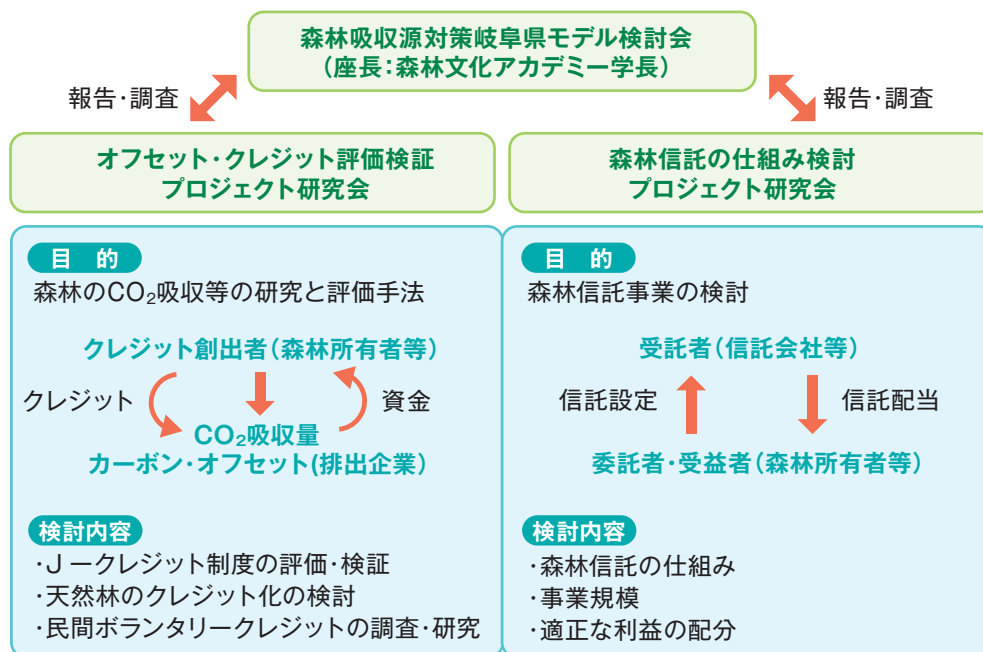
脱炭素社会の構築が急務の中、企業活動で排出される温室効果ガスの埋め合わせ（カーボン・オフセット）に、森林吸収クレジットの活用が全国的に注目されています。

一方、林業は、間伐時の一時的な収入と主伐時の原木販売の収入に限定され、それまでの期間が非常に長期に及ぶことから、安定的な経営を実現するためには、新たな収益を生み出す必要があります。

そこで、オフセット・クレジットや信託制度を活用した森林所有者への利益還元、森林整備の仕組みを検討します。

【事業概要】

- 県林政部に『森林吸収源対策岐阜県モデル検討会』を設置し、モデル構築に向けた検討を行います。
- 検討会内に、2つの研究会（『オフセット・クレジット評価検証プロジェクト研究会』、『森林信託の仕組み検討プロジェクト研究会』）を設置し、調査・研究を進めます。
- 森林所有者、林業事業者、市町村等に対し、森林吸収源対策の普及啓発を行います。



森林吸収源対策岐阜県モデル検討の概要

【取組状況】（R4.10月末時点）

- 森林吸収源対策岐阜県モデル検討会：2回開催
- オフセット・クレジット評価検証プロジェクト研究会：2回開催
- 森林信託の仕組み検討プロジェクト研究会：1回開催
- J-クレジットの創出拡大に向けたセミナーの開催



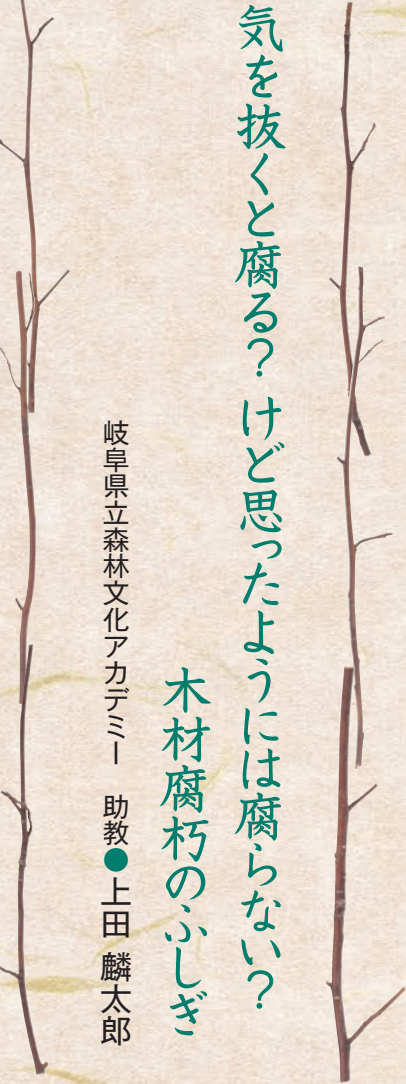
オフセット・クレジット評価検証プロジェクト研究会の開催

● 詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-1111 内線(4121) 森林活用推進課森林吸収源対策室まで

気を抜くと腐る？ けど思ったようには腐らない？

木材腐朽のふしぎ

岐阜県立森林文化アカデミー 助教 ● 上田 麟太郎



そうして先ほどの話に戻ると、なぜ腐朽処理がうまくいかなかったのかも察しがついてきます。つまり、わざわざ苦勞してセルロースを分解しなくても十分に腐る培地のグルコース(とデンプン)だけで生存できるから、腐朽菌が木材をあまり分解しなかったのではないかと推測できます。もともと遅く生きている腐朽菌を見くびって、親心で(？)栄養をあげすぎたという訳ですね。端的に表せば「甘やかすすぎてダメになった」ということも知れません。

講釈ならここで「子供を甘やかすな」と締めるのでしようが、腐朽菌の様子をみると、その結論は間違いないようです。さらに長く置いて培地の養分が尽きると、木材の腐朽がきちんと進みました。培地の養分が届かない場所、たとえばユニットを取り付けた木材の反対側や内側の奥まで菌糸が伸び、予想以上に分解が進んでいることもありました(図3)。腐朽菌の伸びかたは、表面から見るだけでは分からないこともあります。

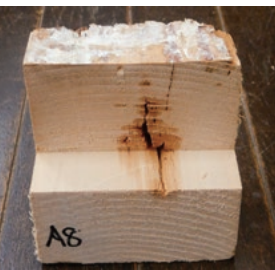


図3 ユニットを取り付けた上面から、腐朽菌が木口(写真奥)へ迂回して材の内部を腐らせた例。

さて、この観察結果だけ見ると、木造住宅を腐らせないために「砂糖を撒け」という珍案が出てきかねません。何か効果はあるかも知れませんが、そのうち砂糖は湿気で流れてしまふでしょうし、より強力なカビが蔓延って腐朽菌を駆逐してしまうかも知れません。およそ期待通りにはならないでしょう。実験室で起こることが、現場でもその通りとは限りません。生き物のことならなおさら、簡単に思い通りにはならないのです。

木造で特に気を付けなければならぬのが、木が腐ること、専門用語でいえば木材腐朽です。腐朽が進むと危険なことは知られていますが、どれぐらい腐るとどれぐらい強度が下がるかは、いまだ不明点の多いところ

です。腐朽を進める菌類(腐朽菌)や木材の種類、木材の腐り方によって一概に言えない難しさはありますが、これは「どれぐらい腐朽が進んでいたら『手遅れ』なのか」の線引きが今のところ、正確には難しいということです。それを知るためには、研究の蓄積が必要です。そこで去年まで在学した北海道大学では、腐朽した木材を試験体を使って「どれぐらい木材が腐ると、どの程度ビスや釘の利きは悪くなるか」などを研究してきました。と言っても、その辺に落ちている腐った木材では実験は出来ません。研究に必要だったのが「人工的に木を腐朽させる」こと＝腐朽処理です。今回は、そんな腐朽処理から学んだことについてお話しします。

木材の腐朽処理方法として、「腐朽源ユニット法」を利用しました。これは北海道の林産試験場で考案された方法で、容器に培地を充填して腐朽菌を培養したユニットを木材に取り付け、腐朽させるという方法です。「私の実験では、ジャガイモデンプンと糖(グルコース)、寒天で出来たPDA培地を多めに用意してユニットをつくり、菌が育ったあと(図1)に針葉樹材に取り付け、腐朽菌に適した温度と湿度を整えて半年以上置きました。ところが、結果がいまひとつになることがありまし



図1 菌糸がまわった腐朽源ユニット。ゼリー状の培地に処理の対象と同じ樹種の小片を並べて腐朽菌を接種し、製作する。



図2 あまり腐らなかつた試験体。材の表面も硬さをほとんど保つ。

た(図2)。木材の水分量の変化も加わりませんが、腐朽の前後で、重さの変化が1割に満たないものもありました。腐朽処理は失敗と言えるでしょう。十分な栄養と環境で、何が問題だったのでしょうか。

そもそのお話をしてしましよう。木材腐朽菌は、木材の主成分・セルロースを分解し、栄養源となる糖を生成して育ちます。われわれヒトは、デンプンを糖に分解して栄養としていますね。こうして並べると同じように簡単(？)見えてしましますが、セルロースを分

解するのは、実はとても時間のかかる作業です。ウシは牧草のセルロースを分解して暮らしていますが、そのために、分解を可能にする共生細菌、4つの胃と体の20倍の長さの腸、そして反芻が必要なることを考えると実感ができます。反芻も身長はせいぜい6倍ほどです。反芻も身長はセルロースとデンプンは、どちらもグルコースが連なった多糖類ですが、構成するグルコースの構造のほんのわずかな違いから、分解しやすさをはじめ性質が大きく違ってきます。

木材のセルロースの分解は、さらに難儀になります。何十年も樹体を支えるのに、簡単に分解される訳にはいきません。そのために樹木は、きわめて分解しにくい成分・リグニンをセルロースにまじり、抗菌活性のある抽出成分、たとえば松ヤニを木材に蓄えて対抗しています。リグニンの分解の難しさは、人が今も苦勞するほどです。製紙工場では、褐色でインクも乗りにくいリグニンをうまく取り除いて強度のある白い紙をつくるために、何種類もの薬品・漂白剤を使った処理が必要になっていきます。主に針葉樹材を腐朽させる(だから建築物で被害が深刻な)褐色腐朽菌は、リグニンをほとんど分解できません。褐色腐朽菌が木材を腐らせるのは、抽出成分という毒と闘いながらリグニンを避けてセルロースをちびちびと分解する、手間の掛かる仕事というわけですね。

【参考論文】[1] 野田康信, 森満範, 戸田正彦, 森拓郎: 強制腐朽処理による柱脚接合部の評価. 日本建築学会大会学術講演梗概集C-1構造Ⅲ, 277-278 (2011).



施設全景

施設概要

事業年度	令和2年度
事業主体	西美濃農業協同組合
構造 延床面積	鉄骨造 平屋建 延床面積 430.05㎡(事務所棟)
施設用途	店舗・事務所・会議室
木材使用量 使用樹種	3.18㎡ スギ、クリ
全体事業費	183,095千円
助成額	1,169千円(県産材需要拡大施設等整備事業)
設計者	全農岐阜一級建築士事務所
施工業者	(株)大橋組
工期	令和2年9月4日～令和3年4月30日

施設の経緯

海津市平田町管内の2支店を統合し海津北支店を建築するにあたり、利用者が親しむことができる和やかな雰囲気施設の設けするため、県産材を用いて内装を仕上げることにしました。



風除室



店舗待合

相談室



会議室



ここに注目!!

店舗待合、相談室、会議室を中心に、県産材を使い木質化しました。

利用者の様子

利用者から「木の香りが心地よい。」「落ち着いた雰囲気です、相談ができる。」とのご意見をいただいております、職員も和やかにお客様の対応ができます。

問い合わせ先

JAにしみの本店総務部管財課
TEL0584-73-8196



側島さん 林さん

恵那地域の新人紹介

加子母森林組合

はやし あみな 林 杏実菜さん

そば じま ゆき 側島 優希さん

今回は、中津川市の北部に位置する「加子母森林組合」に今年4月入社したフレッシュユナ二名を紹介いたします。

お二人とも岐阜県内の農林高校卒業後に岐阜県森林文化アカデミー（以下アカデミー）エン지니어科に入学し、今年3月まで森林・林業の知識・技術を学ばれていました。

加子母森林組合に就職したきっかけは、アカデミー在学中の就職企業説明会でした。加子母森林組合から説明に来られた職員の人柄に惹かれ、その後インターンシップを体験し、職場の雰囲気の高さと仕事内容が自分達に合っていたため加子母森林組合を就職先として選択し現在に至っています。

林さんのプロフィール

・実家は山を所有しており、曾祖父は電柱用の木材の仕入れ販売を行っていました。アカデミー卒業後には、少しずつですが、将来の林を想像しながら所有林の手入れを始めています。

- ・資格取得が好きて、大型特殊、危険物、車両系建設機械、フォークリフト等の資格を持っています。

- 現在の仕事内容
・森林計画課に所



属し、調査・測量・補助金事務・キャンプ場運営等を行っています。

○今後の抱負

・先ずは一通りの仕事を覚えることを頑張っています。将来は、加子母の高密度網を生かした利益の出る森林管理を提案出来るよう頑張りたいと思います。また、資格を増やすための勉強を頑張りたいと思います。

側島さんのプロフィール

・実家は林業に無縁でしたが、自然が好きで農林高校に入りました。中学1年生の時に担任の先生が農林高校、森林科学科のオープンキャンパスを紹介してくれたおかげで今が有ります。

○現在の仕事内容

・加工課に所属し、加子母産ヒノキを加工した学校教材キットや販売品等の製作を行っています。

○今後の抱負

・先ずは製品作りに慣れることを頑張っています。川上から川下までの木材の流れをもっと勉強したいと思っています。

- ・グリーンセイバー（樹木・環境ネットワーク協会）が主催し、



植物や生態系に関する知識を体系的に身につけた人材を育成する試験）やフォークリフトの資格を取得したいと考えています。

細川組合長から二人への言葉

・守破離（しゅはり）武道の言葉で、教えを学び、その型を破り、己のスタイルを確立すること）の考えで仕事をしたい。

・自分の給料は、自分で稼ぐこと。（若い発想でアイデアを出し、事業化していく、職員全員が営業マンである自覚をもつ）

お二人へ、有難く温かいお言葉を頂きました。

取材を終えて

お二人ともまだ二十歳で、就職して半年も経っていないのに、落ち着きがあり加子母森林組合にしっかりと溶け込み仕事をされています。

二人とも「わな免許」を取得されており今年の猟解禁日に向けて現在復習中だそうです。

明るいお二人が、今後、加子母森林組合の主軸となり活躍する姿が楽しみです。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0573-126-1111（内線305）

恵那農林事務所 林業課 森林整備係まで

ツリーシエルターを

適切に管理して森林を育てる

岐阜県森林研究所 ● 片桐 奈々

シカの食害を防止する対策のひとつに、ツリーシエルターがあります。ツリーシエルターは施工した後、手間がかからないという話をたびたび聞きますが、それは大きな間違いです。施工後に放置すると、健全に造林できな可能性ががあります。

ツリーシエルターの構造

市販されているツリーシエル



図1 ツリーシエルターの構造
(1)プラスチック筒、(2)プラスチックネット板、(3)ネット布

ターは主に、苗木に被せる筒状の本体部（プラスチック筒、プラスチックネット板、ネット布の3種類）と、本体部を支える支柱で構成されています（図1）。

ツリーシエルターの弱点

まず、図2のような樹形異常の発生が挙げられます。樹形の異常は時間が経過すると治せないため、早期発見して異常部を剪定し、脇芽を頂芽に誘導する必要があります。

またツリーシエルターは積雪に弱く、耐雪性の高い支柱でも折れる可能性があります（図3）。雪解け時期に、施工地を見回り、倒れたツリーシエルターの補修を行う必要があります。

他にもツリーシエルター本体部のタイプで苗木の生長の仕方



図3 積雪によるツリーシエルターの倒伏被害
耐雪用の径4cmの支柱も倒れる被害が確認されている（上）。



図2 ツリーシエルターで起こる樹形異常
全ての本体タイプで樹形異常が起こる可能性がある。特にネットタイプは、メッシュサイズが大きいと頂端が外に出て曲がったまま成長することがある。

が変わることもわかっています。より詳しく知りたい方は、森林研究所HPで公開中の手引書（シカ食害防止対策のメリット・デメリットとその対処法）を削除を効果的に行うために）をご覧ください。シカ柵や忌避剤散布についても解説しています。

おわりに

ツリーシエルターは、適切に施工・管理すればほぼ確実に食害から苗木を保護することができます。これは対策を実施するうえで、最も大切なことです。施工地を適切に管理し続けることではじめて食害防止効果が得られることを認識する必要があります。



詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-331-2585

森林研究所まで



可茂地域における普及活動について



■可茂農林事務所 林業課
林業普及指導員 河原 多美子

項目／町村	八百津町	白川町	東白川村
民有林人工林面積 (ha) A	3,436	12,131	5,381
木材生産量 (m ³) B	8,118	8,477	10,919
森林技術者数 (人) C	16	24	28
B/A	2.36	0.7	2.03
B/C	507	353	390

令和2年度実績

可茂農林事務所管内は、岐阜県中南部に位置し、2市7町1村の10市町村からなり、森林面積は約6万1千ヘクタールです。そのうち民有林は5万7千ヘクタールを占め、人工林率は56.3%です。北部は東濃松の主産地でもある林業地域（七宗町、八百津町、白川町、東白川村）、南部は都市近郊森林地域（美濃加茂市、可児市、坂祝町、富加町、川辺町、御嵩町）になります。

今回は、令和3年度可茂地域の普及活動として東濃松の主産地である北部地域にて木材生産量の増加を図るべく、白川町内の林業事業体へ支援した取組について紹介します。

なぜ白川町？

北部地区の内、八百津町、白川町、東白川村の「民有林人工林面積あたり木材生産量」及び「森林技術者数あたり木材生産量」は白川町がどちらも最低です。それゆえ、白川町の安定的木材生産体制の確保のため林業事業体へ支援を実施していくこととしました。

森林経営計画の作成支援

白川町内の森林経営計画のほとんどは白川町森林組合が作成又は作成支援をしています。組合以外の事業体でも所有者境界が明確であれば、施業委託の同意を取得して施業を実施することは可能です。しかし、森林経営計画の作成や補助金申請事務に人手をさくことは難しく、取り組めない林業事業体がほとんどです。

白川町内の林業事業体である東濃ヒノキ白川市場協同組合は令和元年度に林産部門を立ち上げ、皆伐施業を主に木材生産を行っていましたが、年間を通じて安定的な事業量の確保のため森林経営計画の作成を以前から検討していました。

令和3年度に東濃ヒノキ白川市場協同組合は森林技術者を4名に増し、森林経営計画作成に取り組むこととしたため、白川町農林課の協力も得て支援を実施することとしました。

最初の計画地は林道が既に整備されており、所有者境界が明瞭で、地域のキーマンとなる森林所有者が存在する箇所を選定しました。



森林経営計画検討の様子

森林経営計画策定までの事務的スケジュール

- 1 森林簿（紙）情報の入手
- 2 森林経営計画の区域確定
- 3 間伐等施業、路網の計画検討
- 4 森林経営委託契約の締結
- 5 森林簿情報（電子）の入手※
- 6 森林経営計画研修受講
- 7 森林整備課職員に講師を依頼し令和3年7月15日に研修会を開催
- 8 森林経営計画実行監理システムを配備
- 9 森林経営計画認定請求

※ 森林簿の電子データの入手には森林所有者との森林経営委託契約の写しが必要です。



東濃ヒノキ白川市場協同組合の施業の状況

補助制度活用支援など

- 1 森林経営計画の作成にあたっては木材生産量を確保するため、主伐再造林の計画をたてるよう指導をし、1.0haを含む計画としました。
- 2 施業開始前に森林整備事業の補助制度の説明、事業実施に必要な事業地のプロットの管理方法及び測量の精度など、必要な作業・基準について実例を交えて具体的に説明しました。
- 3 効率的に施業地の管理を実施するためには、施業以外の測量等の業務をいかに短縮することも重要です。そこでGNSSを導入し、人工の削減を図ることとしました。



東濃ヒノキ白川市場協同組合の施業地

他の事業者への支援

白川町には会社組織、事業者、一人親方などさまざまな業態をメンバーとした白川町林業担い手育成協議会(以下

協議会)があります。協議会が開催する小規模事業者や自伐林家向けの研修会にて森林管理路緊急整備事業、環境保全林整備事業等、木材生産量増加のため補助事業の活用推進を図りました。



研修会の様子

最後に

東濃ヒノキ白川市場協同組合(以下市場)の意欲と経営計画策定支援などの取組により、市場の令和3年度木材生産量は前年度と比較して12%増となりました。令和4年度も市場は新たな森林経営計画を作成し木材生産量の増加を目指します。

能力のある林業事業者や小規模事業者へも支援・助成することにより、地道に地域の木材生産量の安定供給体制の確保を進めたいと考えています。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0574-251-3111

可茂農林事務所林業課まで

スマート林業通信 29

「経営モデル実証事業」稼働開始!

森林のたより9月号のスマート林業通信で紹介した、「経営モデル実証事業」が9月から本格的に動き始めました。

この事業は、最新式林業機械を導入し、素材生産から流通、再造林・

保育までのトータルで総収支がプラスになることを目指して実証試験に取り組むもので、事業期間は令和4年度～5年度の2年としています。

今年度は流通分野で活躍が期待されるICT(自動採材機能付き)ハーベスタ(日立建機日本株式会社)と再造林・保育分野の省力化が期待される山もつとモット(キヤニコム)の2種の機械を現地に持ち込んで実証試験を行います。これまでに機械メーカーなど関係者と調整を重ね、9月上旬から現場での稼働が始まりました。

どちらの機械もメーカー技術者から2～3日の操作指導を受けたのち、試運転を行い、ICTハーベスタは11月末まで、山もつとモットは

10月末までの期間、実証試験を行い、データを収集します。

来年度は油圧集材機・架線式グリップルの実証試験と見学会を予定していますので、ぜひご参加ください。



ICT ハーベスタ



山もつとモット

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-1351-2535

森林文化アカデミー

スマート林業推進係まで

御嶽山合同パトロール

岐阜森林管理署は約4万haという
広大な国有林を管理していますが、
その中には日本百名山の一つに数え
られる御嶽山も含まれています。

新型コロナウイルス感染症の影響
で、昨年は実施できていなかった御
嶽山の夏山パトロールが、今年、二
年ぶりに実施されることとなり、登
山客の増加が見込まれる7月中旬か
ら10月上旬まで、岐阜森林管理署、
山岳救助隊などの組織が合同でパト
ロールを行いました。

今回は、今年4月に新規採用され、
合同パトロールに初めて参加した職
員からの報告です。

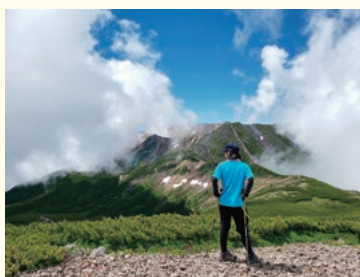
数日前から天気心配されていま
したが、幸いにも当日は朝から晴れ
間が広がっていました。今回は、署
の先輩、下呂市役所に勤めながら山
岳救助隊にも入隊されているベテラ
ンの方と共に、3人で合同パトロー

ルを行うことになりました。登山口
へ向かう道中も天気は続いていまし
たが、しばらく車を走らせたところ
で見えてきた御嶽山の山頂は、見事
に雲に隠れていました。途中で雨が
降るかもしれないという心配を抱き
つつ濁河温泉口を出発しました。

山岳救助隊の方を先頭にその後
続くようにして山を登っていきまし
た。正直ついていくので精一杯で
した。かなりペースを落としましたが、
せてくれているのはわかりましたが、
重い荷物を背負ったの登山に慣れて
おらず、高い段差を上る時、足がと
ても重かったです。森林限界を超え
たあたりから呼吸が少し苦しくなっ
て、本当に酸素が薄くなっているの
だなと感じました。

なんとか五の池小屋へ到着し長め
の休憩を取った後、今回の宿泊先と
なる二の池ヒュッテに向かいました。
一日目の目的地である小屋に着いた

時は、大きな達成感で疲れも吹き飛
びました。山小屋の方が作ってくだ
さった夕ご飯もとてもおいしく、山
の上でも温かいご飯を食べることが
できて感動しました。また、明かり
のない暗闇の中では星がはつきりと
綺麗に見えて、星空を近くに感じま
した。



▲山頂を眺める筆者

二日目は朝から天気が良く、御嶽
山の最高峰である剣ヶ峰に登頂する
ことが出来ました。辺り一面を展望
することが出来ました。先日規制
が解除されたばかりの未だに火山灰
が残っている風景を見て、事故を風
化させてはいけないなど強く感じま
した。

その後山岳救助隊の方の提案で登
山スポットを何箇所か案内して頂き
ました。道中、ライチョウの親子や
オコジョなど珍しい動物も見られ、
貴重な体験が出来ました。

下山に関しては登りよりも精神的
には楽でしたが、足に負担がかかっ
ているのがよく分かり、帰りの道は
とても長く感じました。下山が終わ
り出発地点の登山口に到着すると、
本当に自分は御嶽山の登山を無事に
終えることが出来たのだなど嬉しく
なりました。様々な場面でお世話に
なった山岳救助隊の方には、感謝の
気持ちでいっぱいです。



▲火山灰が残る山頂付近

今回はパトロールとしての登山で
したが、自分は登るのに必死で、登
山道の危険な箇所の確認や現場写真
の撮影などの業務をしっかりと行う
ことができなかったのも、もっと体
力をつけなければいけないなど反省
しました。次回またこのような業務
に携わる機会があった時のために、
体力作りを頑張っていきたいです。

(岐阜森林管理署)

開催日	行事名等	内容等 (概要、定員、受講料、申込期限など)	場所
			申込(問合せ)先/TEL
11月8日(火)~ 11月11日(金)	フォークリフト 運転技能講習 受講資格 自動車普通運転 免許所持者	●講習時間 1日目 学科 8:50~17:05 学科試験 17:10~18:10 2~4日目 実技・試験 8:00~17:30 ●申 込：開催日の20日前まで ●受講料：32,450円(本代含む)(振込み) ●定 員：20名(定員になり次第締め切ります。)	(学科) 伊自良中央公民館(山県市大門912-1) (実技) ぎふ農協 旧伊自良共選場(山県市洞田127-5) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
11月16日(水)~ 11月18日(金)	伐木等の業務 (チェーンソー)に係る 特別教育	●講習時間 16日 学科 8:50~17:10 17日 学・実 8:50~12:00 18日 実技 8:30~17:40 ●申 込：開催日の10日前まで ●受講料：23,870円(本代含む)(振込み) ●定 員：30名(定員になり次第締め切ります。)	16日(学科) 17日(学・実) ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東2-5-6) 18日(実技) 県森連岐阜林産物共販所(関市倉知字物見山) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
12月1日(木)	刈払機取扱作業者 安全衛生教育	●講習時間：学科 9:00~15:20 実技 15:30~16:30 ●申 込：開催日の10日前まで ●受講料：11,550円(本代含む)(振込み) ●定 員：30名(定員になり次第締め切ります。)	ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東2-5-6) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
12月7日(水)~ 12月9日(金)	伐木等の業務 (チェーンソー)に係る 特別教育	●講習時間 7日 学科 8:50~17:10 8日 学・実 8:50~12:00 9日 実技 8:30~17:40 ●申 込：開催日の10日前まで ●受講料：23,870円(本代含む)(振込み) ●定 員：30名(定員になり次第締め切ります。)	7日(学科) 8日(学・実) ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東2-5-6) 9日(実技) 県森連岐阜林産物共販所(関市倉知字物見山) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
12月14日(水)~ 12月15日(木)	木材加工用 機械作業主任者 技能講習	●講習時間：14日~15日 8:30~17:40 ●申 込：開催日の10日前まで ●受講料：17,600円(本代含む)(振込み) ●定 員：30名(定員になり次第締め切ります。)	ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東2-5-6) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
1月12日(木)	造林作業の指揮者等 安全衛生教育	●講習時間：8:50~16:50 ●申 込：開催日の20日前まで ●受講料：11,200円(本代含む)(振込み) ●定 員：30名(定員になり次第締め切ります。)	ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東2-5-6) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
1月26日(木)~ 1月27日(金)	リスクアセスメント 担当者 安全衛生教育	●講習時間：26日(林業) 9:20~16:30 27日(製造業) 9:20~16:30 ●申 込：開催日の2週間前まで ●受講料：12,000円(本代含む)(振込み) ●定 員：30名(定員になり次第締め切ります。)	ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東2-5-6) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195



コラム

本誌の5ページでご紹介している通り、郡上市内で林業労働災害レスキュー訓練を実施し、私もスタッフとして参加しました。

今回は防災ヘリによる搬送訓練があり、ヘリコプターから救助隊が降りてきて被災者を搬送する訓練の様子をかなり間近で見ることができました。本当は一部始終をしっかりと見なかったのですが、ヘリコプターが近くに来た時の風が想像以上の強さで、砂や草木が容赦なく飛んでくるため私は目を守りながら立っただけで精一杯でした。消防署の方曰く、過去には防災ヘリの風圧で林内でチェーンソーが飛ばされたこともあるそうです。実際に風圧を体感することで、防災ヘリが来る前にどのような準備をすべきか自分で考えることができるようになりました。体感しないと分からない、とても貴重な経験をすることができました。

「森林のたより」編集委員 二村 友子

COLUMN

イベント情報

12月1日発行

連載

- 山の歳時記(208)
- 山のおじゃまむし(377)

清流と森と親しむ

- 森林と人を活かす知恵(119)

木と親しむ

- 岐阜県の公共木造建築(117)

清流の国ぎふ森林・環境税

森林・林業技術

- 研究・普及コーナー

市況情報

その他

12月号
予定

木材市場

木材市況 県森連 岐阜・飛騨・東濃林産物共販所
単位:円(1㎡当たり)

回数 共販所名	樹種	長さ	径	平均値	高値	備考	
第1802回 岐阜共販所	すぎ	3 m	16~18cm	17,200	—	単価は直材 価格、但し 平均値は並 材二番玉価 格	
		4 m	16~18cm	15,700	—		
			20~22cm	16,700	—		
			24~28cm	16,500	—		
		30cm以上	15,600	22,000			
	6 m	16~18cm	—	—			
	10月4日	ひのき	3 m	16~18cm	23,900		—
			4 m	20cm以上	23,300		37,200
				16~22cm	23,200		—
		4 m	24~28cm	19,900	—		
30cm以上			19,700	50,200			
6 m			16~18cm	—	—		
第1389回 飛騨共販所	すぎ	3 m	16~22cm	17,000	—		
		4 m	24~28cm	16,000	—		
			30cm以上	15,000	18,300		
	10月5日	ひのき	3 m	16~18cm	24,000	—	
			4 m	20~22cm	22,400	—	
				24~28cm	19,900	—	
				30cm以上	20,000	26,000	
		6 m	16~20cm	—	—		
		ひめこ	4 m	24~28cm	11,000	—	
	30cm以上		11,000	15,300			
5 m	30cm以上		—	—			
くり	4 m	24cm以上	15,000	—			
第1721回 東濃共販所	すぎ	3 m	16~22cm	17,200	—		
		4 m	24~28cm	16,500	—		
			30cm以上元	14,500	23,000		
	10月6日	ひのき	3 m	16~22cm	23,000	—	
				24~28cm	21,000	—	
				30cm以上元	25,000	38,000	
			4 m	13cm以下	10,000	—	
				24~28cm	19,000	—	
				30cm以上元	25,000	78,000	
		まつ	4 m	22~28cm梁	—	—	
30cm以上元	11,000	—					

【商況】

ヒノキは全体的に需要が緩み価格は弱含み。スギは全体的に安定した需要に支えられているが弱保合。スギ4m元木中目、尺上良材については、活発な応札がみられ引き合いは強い。製紙向けパルプ材、発電向け未利用材ともに原木不足感が強く需要高。(岐阜)

ヒノキは全体的に需要が緩み価格は弱含みが続いている。スギは前回市とほぼ横ばいとなっているが、良材の引き合いは強い。合板向け原木は、相変わらず停滞して引き合いは弱い。広葉樹の出材量は少ないが、薪材、用材ともに引き合いは強い。高値サクラ4m×52cm@49,300円(飛騨)

ヒノキ元木3,4m尺上良材については応札多数、強保合。3,4m構造材と柱は、引き合いは多いが継続して当用買いの姿勢で価格は保合。ヒノキ合板向けは、(岐阜県産材)2m15cm~2m18cm末口20cm上・余尺込、造材が有利。スギ4m元木良材選木については、活発な応札がみられ強保合。3,4m並材は、堅調な需要に支えられ、保合での展開となった。(東濃)

記念市開催のお知らせ

「ぎふ優良材展」11月10日(木)東濃共販所

「広葉樹祭り」12月7日(水)飛騨共販所

製品卸売標準価格 (9月期)

(単位:円)

樹種	用途	寸法(mm)			等級	m ³ 当り 価格	(本(枚)単価)	前月 比較
		長	巾	高				
スギ	柱	3000	105	105	1等	90,000	(2,977)	↘
	間柱	3000	105	30	1等	100,000	(945)	→
ヒノキ	土台	4000	105	105	上1等	110,000	(4,851)	↘
	柱	3000	120	120	特等	100,000	(4,320)	↘
6000		120	120	上1等	170,000	(14,688)	→	
W 集 成 材	柱	3000	105	105	国産5層	149,000	(4,900)	↘
		3000	120	120	国産5層	132,000	(5,700)	↘

※日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場 全てKD材)

外材市況 (9月期)

1㎡当り(価格単価:100円)

樹種	規格	価格	樹種	規格	価格
米松	SSタイプ	522	米栂	へム(アラスカ産)	468
	コスト(目荒)	522	米ひば	ポール	—

日刊木材新聞調べ 名古屋標準相場(径級は30cm上、米松コストのみ大阪相場)

これってなあに? ~木材用語~

構造材

木造建築の骨組み(構造)に当たる土台、柱、梁、桁等と、母屋等小屋組みにも使われる製材品のこと。構造用木材を略して構造材、構造用材という。杉、桧、カラ松、米松、欧州産Wウッド(集成材)、同Rウッド(集成材)などで、乾燥材化・集成材化が一般的になった。

(参考)日刊木材新聞社 木材・建材用語辞典